



滋賀大YouTubeチャンネル更新中!

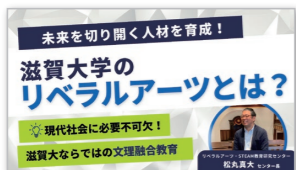
本学の独自の教育や先進的な取り組みを、公式YouTubeで発信しています。このほか、年2回発行の広報誌では紹介しきれない大学のトピック、学生たちの日々の活動紹介、卒業生からのメッセージなどお届けしています。ぜひご覧ください。



滋賀大のホットなニュースをお届け
1分でわかる! SHIGADAI Weekly News



滋賀大学の先進的な取り組みを紹介
SHIGADAI Challenge



豊かな人間性と創造力・構想力を培う
滋賀大学のリベラルアーツ教育

動画は
こちらから



滋賀大学広報誌 Vol.61

しがだい

[発行日] 2025年4月
[発行] 国立大学法人 滋賀大学
[編集] 滋賀大学広報部会

滋賀大学総務課
〒522-8522 彦根市馬場1丁目1番1号
TEL 0749-27-7524
E-mail koho@biwako.shiga-u.ac.jp



アンケートのお願い
「しがだい」のより充実した誌面づくりのために、
Webアンケートのご協力をお願いいたします。



学生広報サポートチーム考案
カモンちゃんLINEスタンプ販売中!



LINE STOREを
チェックなり!



カモンちゃん
日本の開国を主導した井伊直弼公をモチーフにした
滋賀大学公式キャラクター。名前は直弼公の官位、
掃部頭(かもんのかみ)に由来しています。滋賀大学に
“come on”という意味も掛けられています。本学学生
が在学中に取り組み生み出されました。

SHIGA
UNIVERSITY
Public
information
magazine

しがだい



社会をきり拓く力を。 リベラルアーツ教育



彦根キャンパスにて

滋賀大学長
竹村 彰通

Profile

1952年生まれ。1976年東京大学経済学部卒業、1978年東京大学大学院経済学研究科理論経済学・経済史学専門課程修士課程修了。米国スタンフォード大学統計学部客員助教授、米国パーデュー大学統計学部客員助教授、東京大学経済学部教授、東京大学大学院情報理工学系研究科教授を経て、2015年5月滋賀大学に着任。2017年4月から滋賀大学データサイエンス学部長、2022年4月から現職。

学長メッセージ

イノベーション・commons(共創拠点)としての大学キャンパス

データサイエンスとアートを融合した新たな取り組みも

大学のキャンパスは、一般には学生時代の4年間を過ごす場所として理解されていると思いますが、最近ではより開かれた場所として大学のキャンパスを有効活用しようという考え方が強調されています。このコンセプトのキーワードが「イノベーション・commons(共創拠点)」です。大学には知と人材が集積していますが、この大学の強みをいかし、地域や社会と連携する場として大学のキャンパスを活用していこうとするものです。滋賀大学でもイノベーション・commonsの観点からキャンパスの整備を進めています。

イノベーション・commonsの中核的施設として、この3月に彦根キャンパスに「イニシアティブ棟」が竣工しました。この施設は文部科学省の「地域中核・特色ある研究大学の連携による産学官連携・共同研究の施設整備事業」の支援により建設されたものです。企業等とのデータサイエンス分野の共同研究を主な目的とする建物ですが、1階は学生も集うオープンスペースです。また、豊かな自然と伝統に恵まれたキャンパスにふさわしく、アートや伝統の要素も取り入れた建物となっています。

文系的なイメージのアートと理系的なイメージのデータサイエンスとは、一見別物のように思われるかもしれませんが、今後はこれらを組み合わせることが重要になってきます。一つには、最近の生成AIの発展があります。生成AIが注目されている一つの理由は、文章、画像、音楽といったアートの領域でも生成AIがすぐれた性能を発揮しているからです。生成AIによりデータサイエンスとアートが密接に関連するものとなりました。滋賀大学ではデータサイエンスをアートと融合させた新たな学際領域を「データ アート&サイエンス」と呼んで、企業や地域とも連携してさまざまな活動を開始しています。また全学教育においても、データサイエンスに加えてリベラルアーツ教育を強化しています。

2023年には、施設整備事業の採択に続いて、「高度情報専門人材の確保に向けた機能強化事業」にも高い評価を得て採択されました。これによりデータサイエンス研究科の定員を大幅に増やすとともに、今年度中に彦根キャンパスの現在の大合併教室の建物を「データサイエンスみらい創造館」に改築します。

学長メッセージ

01 イノベーション・commons(共創拠点)としての大学キャンパス

滋賀大学長 竹村 彰通

巻頭特集

03 社会をきり拓く力を。リベラルアーツ教育

07 社会を創造する学生たちの学びの形

09 しがだいChallengers

卒業生インタビュー

11 輝く卒業生たち

株式会社大垣共立銀行 安田 竜輝さん
マイクロメモリ ジャパン株式会社 馬谷 遼平さん
彦根市立城南小学校 田鍋 敏寿さん

研究者インタビュー

14 活躍する研究者たち

教育学部 芦谷 道子教授

国際交流

15 海外から滋賀へ留学体験記

16 CLUB & CIRCLE

クラブ&サークル

17 ニュース&トピックス

18 滋賀大学へご支援のお願い



大津港シンボル緑地

学生広報サポートチーム活躍中!

記事企画と制作(P14)、LINEスタンプ考案(裏表紙)など、大学の広報活動を学生目線でサポートしています。一緒に活動したい方は本学HPをご覧ください。



創造的思考を3つの分野で

社会をきり拓く力を。 リベラルアーツ教育



松丸 真大
教育学部教授
リベラルアーツ・STEAM教育研究センター センター長

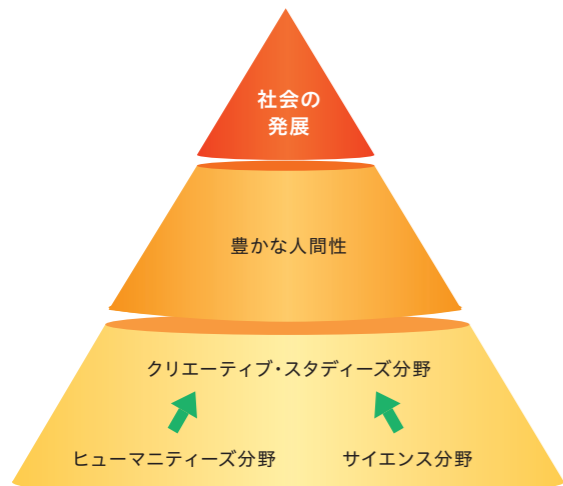
専門分野は社会言語学、日本語学、方言学など。リベラルアーツ教育による全学的な文理融合教育の実践・授業開発に取り組む。

滋賀大学の教育の軸であるリベラルアーツ教育。3学部の学生全員が学ぶ全学共通教養教育を2022年度にリベラルアーツ教育に改革し、2024年度からは新たなプログラムも実施しています。その学びについて、教育学部教授でリベラルアーツ・STEAM教育研究センターのセンター長を務める松丸真大先生にお聞きしました。

課題見つけ、解決するために 新たな科目を新設

——滋賀大学のリベラルアーツ教育のコンセプトや特徴を教えてください。

大学の教養教育科目という「入学してすぐに学ぶ科目」「専門ではないけれど単位取得が必須の科目」と思われがちですが、滋賀大学のリベラルアーツ教育はそれとはまったく異なります。リベラルアーツの起源は、古代ギリシャ時代に遡ります。言語に関わる3学(文法、修辞学、論理学)と数学に関わる4科(算術、幾何学、天文学、音楽)の7つからなる「人間を自由にする基礎的な学問」で、人びとは生きるためにこれを学び、知見を獲得してきました。この学びには現代人にも役立つ英知が詰まっています。滋賀大学は「未来創生大学」として日本初のデータサイエンス学部創設をはじめ、新しい社会を切り拓き、価値創造を担う人材の育成、新しい文理融合教育、STEAM教育※に取り組んできました。リベラルアーツはこの未来創生型教育にもフィットしていることから、私たちセンターが中心となって新たな教養教育プログラムとして取り組み、2022年に導入しました。本学のリベラルアーツ教育は「ヒューマニティーズ」「サイエンス」「クリエイティブ・スタディーズ」の3分野から構成されます。数理・データサイエンス・AIリテラシー領域の科目は履修が必須ですが、それ以外は学生の興味関心に合わせて自由に選べ、学生が主体性を持って学べるのが大きな特徴です。また、社会や地域の潜在的な課題をどう発見し、解決のカタチにしていけるのか、そしてそのカタチをいかにして広めて役立てていくのかという思考を身につけるため、クリエイティブ・スタディーズ分野には、「デザイン思考」「アート思考」「アントレプレナーシップ」という特色ある3科目を新設しました。



滋賀大学リベラルアーツ教育のイメージ

——全学共通教養教育の改革は3年前となりますが、改めて、どのような背景があって改革に至ったのでしょうか。

VUCA※といわれる予測困難な時代を生き抜くには、単一の専門性だけでなく、幅広い知識をもち、複眼的に物事を考えられる柔軟で創造的な思考が必要です。これは文部科学省でも認識・検討されていて、新しい大学教養教育への転換が全大学のミッションとなっています。求められていることは、①学修者本位の教育の実現、②文理横断・文理融合教育、③多様性の確保です。この文科省の答申を受けて、(一社)日本経済団体連合会からも人材輩出という点から大学への期待が発表されました。こういった方針と要請に応えるべく、滋賀大学は教養教育科目を改革することになったのです。改革の目的は創造力の育成、幅広い知識の獲得、総合的な知の育成の3つです。人文・社会・自然科学の科目を文理横断で設定し、俯瞰的視野と論理的思考、課題発見・解決力を養い、そして自己を見つめていかに生きるか、いかに他者・社会に貢献できるかを学生だけでなく教員も共に考え、学び合っています。

他分野の学びを連携させて 自分だけの「知識の体系」を

——2024年度からは「未来創生リベラルアーツプログラム」が始まりました。

より創造的な学びをめざして開始した「未来創生リベラルアーツプログラム」は、2年次から始まる専門科目と並行履修する後期教養教育科目として位置づけています。2年次からの履修を“推奨”という以外は、受講条件はありません。希望する学生は学部を問わず取り組むことができます。また、プログラムの実施にあわせて、「リベラルアーツ総合探究Ⅰ・Ⅱ」という科目を新設しました。Ⅰは分野横断の学びで複眼的思考を身につけることが目的で、Ⅱは企業等と連携した課題解決型授業です。プログラム修了には、このいずれかの履修が必須となります。

——リベラルアーツ教育や新設されたプログラムへの期待、そして今後の展望もお聞かせください。

一人ひとりオリジナルの「知識の体系」を築き上げてほしいと思います。これまでは数学や国語など多様な知識を科目ごとに学び、頭の引き出しにバラバラに収納し、ものによっては引き出しに入れたままになっていたかもしれません。これでは多くを学んでも意味がありません。これからは、学部で得た専門知識を軸に、他分野の知識を学んで拡張・連関させた「知識の体系」をつくり、活用することが必要になります。「未来創生リベラルアーツプログラム」の履修を2年次から推奨としているのもそのためです。「未来創生リベラルアーツプログラム」を開始して1年が経過しました。履修する学生からは「答えがない課題に遭遇することがあっても、解決方法を考える際にプログラムで学んだ手法が役立っている」「正解がないことを思考する作業は思っていた以上に大変だが、自分の糧になる」と、私たち教員にとってうれしい声が寄せられています。「科目が多種多様でどれを選べばいいのか」といった迷いや悩みもあるかもしれません。履修方法をサポートするチューター教員を配置しているので、安心して関心ある学びを深めてもらえればと思います。滋賀大学は「Creation(創造)・Cooperation(協同)・Contribution(貢献)」という3Cを大学憲章に掲げています。個々の創造力から新たな価値を生み出す、多くの人と多様な知識を掛け合わせて協同し、社会に貢献していくことはリベラルアーツ教育に通じます。教養教育としてだけでなく、滋賀大学の全学的・専門的な教育、存在意義にまでリベラルアーツを高めていくことをめざしていきます。

※STEAM教育：科学、テクノロジー、エンジニアリング、芸術(人文・社会)、数学の英単語の頭文字を組み合わせた造語。
※VUCA：Volatility(変動性)、Uncertainty(不確実性)、Complexity(複雑性)、Ambiguity(曖昧性)の頭文字をとった造語。不確実な状態をいう。

新時代のDXを担う力を身につける「未来創生リベラルアーツプログラム」

2024年度よりスタートした「未来創生リベラルアーツプログラム」では、分野横断的な知識・課題解決力・複眼的思考を軸にした「リベラルアーツ」と、数理・AI、統計に関する知識を学び、スキルを身につける「データサイエンス」の相乗効果により、専門的な知識と柔軟な発想力を備えた新時代のDXを担う人材を育成します。また、プログラムで履修すべき融合科目として2科目を設置しました。

■プログラム修了・認定までの流れ

〈1〉指定された①～③のプログラムの修了および科目の単位を修得

- ①数理・データサイエンス・AI教育プログラム(リテラシーレベル) → 必修
- ②リベラルアーツ科目3分野から各6単位以上を修得 → 選択必修
※学部により必修科目の指定があります。
- ③融合科目「リベラルアーツ総合探究Ⅰ」または「リベラルアーツ総合探究Ⅱ」 → 選択必修(2年次以上推奨)

〈2〉必要単位を修得後、課題を提出

履修を通じて身につけようとした知識体系と選択科目、専門分野を提出様式に沿ってまとめ、提出します。

〈3〉プログラム修了認定

提出した課題内容が適切と認められると修了と認定され、修了者にはオープンバッジ(国際標準規格の電子証明)を発行します。



これが滋賀大学の リベラルアーツ

クリエイティブ・スタディーズ分野から3科目を紹介

リベラルアーツ教育の「ヒューマニティーズ」「サイエンス」「クリエイティブ・スタディーズ」の3分野14領域約80科目から、今回は滋賀大学ならではの特徴的な3科目を紹介。
リベラルアーツ教育に携わる大谷宗啓先生に、それぞれの科目のポイントも教えてもらいました。



リベラルアーツ総合探究Ⅰ

共通テーマを設定し、3学部の教員が切り口を変えて授業を行います。2024年度は「AIは人間を支配することができるか?」「原発は必要か?」をテーマに展開しました。座学だけでなく、グループディスカッションや教員によるトークセッションを通じて、問題の本質を考え、課題を自ら立て、解決方法を考える力を養います。「リベラルアーツ総合探究Ⅱ」では、地元企業などと連携した課題解決授業を行います。

大谷先生が解説、この科目のポイント

履修する学生も3人の担当教員もそれぞれ異なる意見を持っています。自分の常識に“揺さぶり”がかけられますが、それが狙いです。自分の専門知識や思考はどんな価値、意味を持っているのか、他者はどう考えているのか、複眼的に捉えて、正解のない問いに向き合い、解決方法を見だしていきます。そうした状況とプロセスは、変動的で、不確実、複雑、曖昧な今の時代に欠かせない適応力や、専門性×多様性による総合力を養うことに適しています。グループワークでは、物事の経済的影響を予測したり、データに基づいて数字で課題を分析したり、それらを教育的観点に置き換えたりと、3学部の専門性を活かした思考方法の共有を期待しています。リベラルアーツ教育と専門教育で修得した力を総合的に活用する科目です。

「リベラルアーツ総合探究Ⅰ」を受講

リベラルアーツを学ぶことで、不確実で答えのない現代社会に立ち向かう知的たくましさを養うことができました。特に元3学部長の講義や学友との討論は刺激的で印象的でした。知の創造拠点たる大学を体感できる科目です。

菅沼 祐大 データサイエンス学部
高知学芸高校(高知県)出身



大谷 宗啓
特任准教授
教育・学生支援機構

専門分野は心理社会的発達。社会における青年について、対人関係や学習動機づけを切り口に研究。未来創生リベラルアーツプログラム担当。



デザイン思考

イノベーションのアプローチとしてアメリカのコンサルティング会社が提唱した「デザイン思考」は、問題の解決策を考え、行う思考法として注目が高まっています。授業は座学だけでなく、グループワークとして観察・課題発見と設定・アイデア展開・試作・検証のデザインプロセスに取り組みます。異なる学部の学生とグループワークに取り組むことで視野を広げ、意見を調整する力を育みます。

大谷先生が解説、この科目のポイント

「商品開発」「UI(ユーザーインターフェイス)」「旅のプランニング」をテーマに3クラスを開講し、それぞれプロダクトや企画の制作に取り組みます。しかし、成果物を完成させ、出来映えを評価することが目的ではありません。課題や社会的ニーズの洗い出し、創り上げるものの定義づけ、試作、検証といったプロセスを体験することが狙いです。制作中にはトラブルや新たなアイデアといった突発的、流動的なことが発生するでしょう。その時こそ、創造力を働かせ、柔軟に対応していくことが必要となります。これは実社会で課題解決にあたるうえでも重要なことです。また、自分の将来設計や社会での位置づけにおいても「デザインしていくこと」は欠かせません。課題をネガティブにばかり捉えるのではなく、何か新しいもの、役に立つものを生み出すというポジティブな思考によって、イノベーションを起こす「デザイン」をどんどん実現してもらいたいと思います。



自己理解(秋学期)

授業のテーマは「『自己』を知る心理学」。受講する学生が自分自身について考え、理解を深めることを目的にした科目です。自己心理学、社会心理学、青年心理学などの理論に基づき、性格判断や自尊感情、理想自己と現実自己のズレなどを、ワークを交えて学びます。自己理解だけではなく、他者や社会の捉え直しにつながることを期待したカリキュラムになっています。春学期にも秋学期とは異なる教員・内容で開講しています。

大谷先生が解説、この科目のポイント

他者や社会を理解するためには、自己を理解することも必要です。「私」を掘り下げていくときれいな面だけではなく、醜く見苦しい面も見えてきます。その取り組みは苦しいものですが、見苦しい面から目を逸らすのではなく、逆にそこだけに目を奪われるのではなく、「苦笑い」しながら落ち着いて受け止めて、それでも私は懸命に生きている存在なのだと思ったり価値や意味を見だしていくことが、自己・他者・社会を理解するためには大切です。また、このリベラルアーツ教育や学部での専門教育を通じて多様な知識を修得し、社会に求められる人材になることは滋賀大学生としてのミッションですが、社会に合わせていくだけでは新しい価値や未来は創り出せません。「私」も他者も社会も複雑で不安定、不完全です。それを踏まえたうえで、個人と他者、社会の折り合いをどのようにつけて、「社会の形成者」となるのか、心理学の「相互認証」も追究していきます。

LIBERAL
ARTS



社会を創造する 学生たちの学びの形

滋賀大学では、学生たちが得た専門的な知見を社会に発信する活動を、積極的に行っています。
2つの取り組みを紹介するとともに、学生に話を聞きました。



NVIDIA学生アンバサダープログラム



(協力:エヌビディア合同会社)



アメリカの半導体メーカーNVIDIAが展開する「NVIDIA学生アンバサダープログラム」に、2023年4月開始時からデータサイエンス学部の学生がアンバサダーとして認定されています。このプログラムは、AIやデータサイエンスの最新動向の共有に意欲のある学生の、さまざまなタスクを実践できる技術的なスキル育成を目的としています。アンバサダーの学生はNVIDIAの技術者から指導を受けられるほか、一般向けのワークショップの開催、最新のGPU※とAI技術に関するプロジェクトへの参加といった活動があります。2期生には滋賀大学から4名、東京工科大学から2名が認定され、他大学の学生との交流による技術革新も期待されています。

※GPU:Graphics Processing Unitの略、画像処理装置のこと。

NVIDIA学生アンバサダー
公式Webはこちら



NVIDIA学生アンバサダープログラムに参加

上野 孝斗さん NVIDIA学生アンバサダー 1期生
データサイエンス研究科博士前期課程 松徳学院高校(島根県) 出身

学生アンバサダーにはNVIDIAの技術を社会に広める役割があります。その一つが年2回開催するワークショップで、企画から運営まですべて任せられます。2024年度はAIとデジタルツインをテーマに、5月と11月に会場で対面とオンラインで行いました。専門的な内容を、一般の方にわかりやすく伝えるか、当日まで試行錯誤しますが、理解いただけたときはうれしいです。

現在、メンバーは滋賀大学と東京工科大学を合わせ

て約10人。月数回、定期会議を開き、ワークショップなどの企画を練り上げています。またYouTubeでの技術紹介チャンネルもスタートさせました。技術の最前線にいらっしゃるNVIDIAの方から直接アドバイスをいただけるだけでなく、理論がどのように実装されているかを目の当たりにできる貴重な機会であり、メンバーの誰もがやりがいと喜びを感じています。機会があればぜひ参加してほしいです。



「予想外にふれる」学習プログラム



(協力:ニフレル)



教育学部・加納圭先生の研究室と、生きているミュージアム「ニフレル」(大阪府吹田市)が共同開発した学習プログラム「予想外にふれる」が、2024年7月に公開されました。ニフレルに来館予定の小学校団体だけでなく家庭でも利用できる無料の学習プログラムです。2020年のコロナ禍に、ニフレルに来館しなくても生きものの生態が学べ、好奇心や探究心を育むプログラムの開発をめざし、オンラインによるワークショップを実施。取り組みを重ねる中で、今回の新たなプログラムの開発、公開へとつながりました。来館前の動画視聴による事前学習、ニフレルで生きものを観察し、伝える来館学習と事後学習で構成。多面的なものの見方、考え方ができるよう、学生たちがコンテンツを作成しました。

学習プログラムの教材と
学習の手引きはこちらから
(ニフレルホームページ)



「予想外にふれる」学習プログラムを作成

金城 璃咲さん(写真左)
教育学部 大谷高校(大阪府) 出身

事前学習の視聴用動画に登場するキャラクター、ニフちゃんの声を担当しました。動画は撮影も編集も学生が行っています。来館学習、事後学習のワークは教科横断したグラフやかるたの作成、タブレットを使った動画撮影を提案しました。来館学習で書き込む観察シートは、子どもたちがこのシートで何をすればいいかが直感的にわかるよう、構成や要素を考え、ときに加納先生に相談しながら何度も作り直しました。

中島 和瑚さん(写真中)
教育学部 八鹿高校(兵庫県) 出身

コンテンツは学習指導要領にとらわれず、民間施設だからこそ学べる内容を意識しました。学校やご家庭で使っていただけるように、指導者・保護者に向けた学習の手引きも作成しています。多忙な先生たちにどうすれば伝わるか、調整を重ねました。ニフレルのホームページから教材の観察シートとともにダウンロードできます。この学習プログラムが校外学習をより楽しく、深い学びにつながるツールになればうれしいです。



しかがだい Challengers

学びも課外活動も、全力で取り組む学生たち。
今回はそんな3名の学生に、挑戦していることを聞きました。

My challenge

海外インターン シップ

現地のニーズをつかんで 危機を打破

エチオピアの栄養強化ビスケット製造企業で4か月間のインターンシップに挑戦しました。インターンシップ開始当初、パッケージの品質や製造コストの問題から製造販売が一時停止する危機的状況に直面。営業活動を続けるも、不慣れた現地語と製造再開が不確定なことが障害となり、商談は難航しました。

そこで、現地の状況やニーズを理解するため、社長宅でホームステイし、地域文化の学習と信頼関係の構築をめざしました。その中で、コミュニティの結束力の強さや栄養失調問題の深刻さを実感。多様な企業と連携するプロジェクトを企画し、クラウドファンディングに挑戦しました。結果、目標額を超える86万円を集め、現地小学校で健康意識向上プログラムを実施し、製品の製造再開に成功しました。

さまざまなアプローチにより 強固な経営基盤を構築

さらに、パッケージの改良や余剰ビスケットを活用した新商品の開発、価格設定の見直しにも着手し、持続可能な経営基盤を強化しました。4か月の限られた時間で現地の人々や日本の支援者と協力し、課題解決の第一歩を踏み出すことができました。今後も「逆境に屈しない粘り強さ」を武器に、多様なことに挑戦していきます。

(滋賀大の好きなおとこ)

自然の豊かさにいつも癒されています。また、彦根キャンパスには、先生方や学生とのつながりが深まる温かさがあると思います。



経済学部

嶋津 怜奈
富山高校(富山県) 出身



My challenge

カヌースプリント競技

応援に支えられながら競技に挑んだ14年間

私は小学2年生のときにカヌースプリント競技を始め、大学に入学後もクラブチームに所属して琵琶湖で練習に励んできました。高校時代は世界ジュニア選手権出場、国民体育大会優勝、インターハイ準優勝などさまざまな結果を出し、大学でも世界で活躍できる選手を目標に学業と両立すべく、学校や友だちに支えてもらいながら、突き進んできました。メンタル面やスランプなどにより、思い描いていた大学4年間とはなりませんでした。それでも最後まであきらめずに走り続けました。

ませんでした。これまで大学や先生方、仲間や地元の方々にたくさんサポートや応援をしていただき、最後までやり抜くことができました。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。お世話になった滋賀県に恩返しをしたいという気持ちから、これからは支える立場として競技に携わりたいと考えています。今年、滋賀県で開催される国スポにも何らかの形で貢献したいです。そして、いつか指導者として競技に関わることが今後の目標です。



これまでの競技経験で 地元・滋賀県に貢献したい

14年間の競技人生の集大成として昨年8月末のインカレに出場し、競技を引退しました。目標を達成することはでき

(滋賀大の好きなおとこ) 体育実技の授業。みんなでおもいっきり体を動かしながら楽しく取り組めるので、とにかく最高です!

My challenge

ヒヤリハットマップの研究

走行データから交通事故の要因解明を

私は現在、川井明先生の研究室に所属し、あいおいニッセイ同和損害保険様と共同で「ヒヤリハットマップ」の研究に取り組んでいます。ヒヤリハットマップとは、交通事故のリスク箇所やその要因を視覚的に表現したもので、より安全な交通環境の構築に役立つツールです。研究では、交通事故の背景にある複雑な要因を解明するため、膨大な自動車走行データを分析し、関連性の高い情報を抽出するプロセスに注力しています。

運転挙動だけでなく 周囲環境も検討

例えば、急ブレーキや急加速といった運転挙動が事故に与える影響を分析するだけでなく、それらが地形や道路条件などの環境要因とどう関連するかについても検討しています。また、得られた結果を地図上にわかりやすく表現し、理解しやすい形式で情報を提供する方法も模索しています。こうした試行錯誤を通じ、データを活用した課題解決の難しさと同時に社会課題に取り組む責任感ややりがいを実感しています。

現在、研究は進行中ですが、得られる知見が将来的に交通安全や地域課題の解決に役立つと信じています。引き続き研究を深め、より良い社会の実現をめざして努力を続けていきます。



(滋賀大の好きなおとこ) 教授からのサポートが手厚いところ。学生一人ひとりに対して丁寧に指導してくださり、研究や進路の相談も親身に対応してくださります。



教育学部

遠藤 帆夏 比叡山高校(滋賀県) 出身



データサイエンス研究科

新美 善大 半田高校(愛知県) 出身

輝く卒業生たち

株式会社大垣共立銀行
やすだ たつき
安田 竜輝さん

Profile ※学科名称は卒業当時。

三重県出身。2021年3月経済学部会計情報学科※卒業、2023年3月データサイエンス研究科博士前期課程修了。同年4月株式会社大垣共立銀行入社、IT統轄部に配属。自社のデータ利活用を推進するために分析・情報蓄積を担当。情報処理技術者試験の中で最高レベルの一つ「ITストラテジスト」資格を取得。取得者のコミュニティで受験者へのサポート活動なども行っている。

先生との出会いと多様な知見が支え 経済学部からデータサイエンティストに

経済学とデータサイエンス 二軸で学んだ学部時代

商業高校では情報処理を学んでいましたが、経済領域を学んで将来に活かしたいと滋賀大学に進学しました。ファイナンスや財務諸表分析などの専門知識とスキルの修得に努めていましたが、ゼミは情報理論を専門とする富田健一先生の研究室に所属。高校生時代に情報処理を学んでいたこともあり、データ分析に興味を持つようになりました。そこで、データサイエンス学部の授業をいろいろと履修していたところ、データサイエンス学部の和泉志津恵先生から、ゼミで使うデータ研磨のアシスタントをやってみないかと声をかけていただき、経済学部在籍しながらデータにも触れることができたのです。卒業論文のテーマは国会の議事録分析。

データサイエンスの技術の一つであるテキストマイニングを活用して、各政党の発言を分析しました。

データの世界を深く 探索することが醍醐味

こうした経緯から、データサイエンスの知見をより深めたいと思うようになり、データサイエンス研究科に進みました。大学院では川井明先生とあいおいニッセイ同和損害保険の共同研究に携わりました。自動車を安全に走行できるルートを提示するために、膨大なデータから研究対象となるエリアを含むデータのみを抽出するなど、活用できるデータを絞り込む作業は手間がかかります。それゆえ、データの世界を深く探索することはおもしろく、今の銀行での仕事の土台になっています。



「ユーザー起点」での データ分析と活用を

学部で会計学を学んだこともあり、修了後は銀行でのデータ利活用やデータサイエンスを担当しています。業務では営業や融資担当といった現場の方の話を聞いて、データを分析することがよくあります。大学院時代に受講した河本薫先生の授業で、企業のデータサイエンティストは現場との良好な関係構築が不可欠と学んだのですが、その通りだと実感しています。良いデータがあるからと私たちから活用を促す「データ起点」では意味がありません。現場の声に合わせてデータを探索・分析し、便利に活用してもらえるようにする「ユーザー起点」が大切です。また経験や勘に頼ってきたことをデータによって可視化、数値化すれば業務の効率化を図れます。現場の声もデータもまだまだ無限にあるので、使命感を持って各種データ分析と活用の基盤構築にも力を注いでいます。経済学部からデータサイエンス研究科に進んだことはとても良いプロセスだったと実感しています。社会で不可欠な経済的な知識、データを活用するスキル、それを融合する創造力を滋賀大学の6年間で得ることができました。



マイクロンメモリ ジャパン株式会社
うまたに りょうへい
馬谷 遼平さん

Profile

福井県出身。2021年3月広島大学理学部数学科卒業。2023年3月データサイエンス研究科博士前期課程修了。同年4月マイクロンメモリ ジャパン株式会社入社、同年12月滋賀大学データサイエンス・AIイノベーション研究推進センター客員研究員着任。英語が好きで留学経験があり、社内の外国人スタッフとは英語でコミュニケーションをとっている。現在は広島県在住だが、彦根の環境も気に入っている。

研究と開発の双方から データの新たな価値を追究

数学を社会に活かせる データサイエンスとの出会い

私は数学教員をめざして広島大学に入学したのですが、1年次にイギリスに語学留学したことで、自分の世界や視野が広がり、「海外で活躍したい」と思うようになりました。そこで数学を活かせるグローバルな仕事をリサーチしたところ、データサイエンティストに出会ったのです。産業領域では製造業に魅力を感じていましたが、アカデミックな数学の理論を現場に活用できるのが疑問でした。その時、偶然、手にしたのが滋賀大学データサイエンス学部の河本薫先生の著書です。企業でのデータ活用事情が詳しく記されており、モヤモヤがパッと晴れました。すぐに河本先生に連絡をとって話をお聞きし、滋賀大学データサイエンス研究科に進学しました。

世界的な学術誌に掲載され 大きな自信に

進学後は河本研究室に所属し、大阪ガスと共同研究を行いました。電力の需要と供給を均衡に保つために顧客の電力使用量



を予測する時系列クラスタリングの手法を開発したところ、成果をまとめた論文が世界的な学術誌『Pattern Recognition』に掲載されたのです。とても名誉あることであり、数学の理論で社会に貢献できることを実感できてうれしかったです。また、自身で課題に感じていた実践力を磨くために、統計学やプログラミングを独学で学びつつの研究、論文執筆だったので大きな達成感も得られました。

最先端の研究を現場に、 社会に還元していく

データサイエンス研究科は、学外との共同研究の数が多くことが特徴だと思います。日本初のデータサイエンスの学部・研究機関としての信頼と実績があるからでしょう。企業では実践力を求められる

ので、できるだけ多くリアルなデータに携わることが重要だと、社会に出た今、実感しています。河本先生をはじめ、企業のデータサイエンティストとして活躍されてきた先生から指導いただけることも魅力だと思います。現在は半導体メモリ製造企業で、製造を支えるデータの活用やプロダクトの開発の業務を担当しています。先日は河本先生が研究されている状態空間モデルを活用して、当社の製造工程に特化したアプリケーションを開発しました。また、客員研究員として滋賀大学にも在籍しており、研究とその成果を現場に反映できる恵まれた環境には、滋賀大学と会社に感謝しています。私としては今後も研究者、そして企業の開発者という2つの立場から、データサイエンスの道を究めていきたいです。



彦根市立城南小学校
たなべとしひさ
田鍋 敏寿さん

Profile ※専攻名称は卒業当時。

滋賀県出身。2016年3月教育学部初等教育コース初等教科専攻英語専修※卒業。同年4月彦根市立城西小学校着任、2020年4月彦根市立城南小学校着任。新任時代から海外の交流先との交渉や英語の指導方法の策定に携わる。現在は教育DXに注力し、ITや教育関連の企業のアンバサダーなども務める。学生時代、共にバスケットボール部の活動に打ち込んだ親友と、同じ小学校で教員として机を並べている。

小学校の英語教育と教育DXのフロンティアになることが使命

先生の言葉をきっかけに 小学校教員の道へ

両親が小学校教員で、物心ついた時から先生になりたいと考えていました。中学時代の英語の先生の教え方がすばらしく、影響を受けたことから、滋賀大学に入学した後も、迷わず中学校の英語教員を志望。ところが、小学校教員を薦められました。私のパーソナリティが小学校教員に向いていること、加えて初等教科専攻英語専修新設のタイミングということで「1期生として大学の新たなコース、そして小学校の英語教育を切り拓いてほしい」と、現在は退任された岩上はる子先生からの言葉に喜びと誇りを感じて、小学校の教員に目標を変更しました。在学中は実習授業と並行して、言語学の研究に取り組みました。英語を文法の理論から分析していくのですが、謎解きゲームのように興味深かったです。小学校で英文法の指導はしませんが、卒業論文の発表会に向けて難解な理論をかみ砕き、誰もが理解できるように説明する経験を積んだことが、授業を計画していくうえで役に立っています。



ICTを活用した授業と 教員同士での学びに注力

現在、力を入れていることはICTを活用した授業です。一例としては、英語で世界の国を紹介する動画を撮影し、SNSで発信しました。動画を見直すことで、子どもたちは撮影方法や英語表現を検討するなど積極的に取り組んでいます。私はICT教育を先導するマイクロソフト認定教育イノベーターとして活動していることもあり、海外の中学校とオンライン交流会も行いました。子どもたちにとってはリアルに英語を話す貴重な経験となり、ICTと外国語教育の親和性と効果の高さに手応えを感じています。このほか、教員同士の交流の場づくりにも取り組んでいます。子どもの成長、笑顔は何物にも代えがたい喜びで「先生になってよかった」と実感します。だからこそ、もっと良い授業をつくろう、もっと働きや

すい環境を整えようという思いを抱く教員が集まり、議論や情報交換を行うことで、豊かな教育活動に還元できればと思います。

滋賀大への信頼を実感 今後もよりよい教育を

滋賀大学教育学部に入学してよかったと思います。学修や採用試験対策の手厚さ、実績の高さから「先生になるなら滋賀大学」とよく言われますが、教壇に立って改めてその評価と信頼を感じました。卒業生としては、教育学部の皆さんに実際の授業を見て、「先生の仕事は楽しそう」と思ってもらいたいですし、教員の交流の場づくりでは、今後は滋賀大学の卒業生とも連携して、教育現場を盛り上げていきたいです。また、生まれ育った滋賀県の教育レベルをさらに高めることも目標です。

活躍する研究者たち

Researcher's File

臨床心理学やマインドフルネスで 子どもたちの問題支援や心の教育を

芦谷 道子 Ashitani Michiko

教育学部教授。博士(医学)。研究分野は臨床心理学。2007年に滋賀大学に着任し、2018年より現職。公認心理師、臨床心理士として、心理的問題を抱える子どもたちやその保護者の心理療法にも携わっている。



Q. なぜ、心理学の分野に進んだのですか？

人の心の不思議・謎に関心があり、人間を知りたい・人間を追究したいという強い思いから、大阪大学人間科学部に入学しました。今、専門としている臨床心理の道に当時進むことは考えていませんでしたが、恩師に出会い、特に深層心理学系の学びを進めていく中で魅力を感じ、心理学の世界に一気に引き込まれました。

Q. 専門の臨床心理学について教えてください。

心理学は目には見えない心を理解するために、一般的な人の傾向や、心の動き、行動を、データをもとに科学的に追究していく学問です。その中でも臨床心理学は、心理的な困難を抱える目の前の一人ひとりに対して、具体的に有効な心理支援を探究する学問となります。私は、心身症をもつ子どもたちへの心身両面へのアプローチを専門に研究しており、その中で、箱庭や描画、夢などのイメージを扱う心理療法、遊戯療法を行っています。悩みや困難を成長へのチャンスと捉えており、心の世界の不思議と深さに魅せられる日々です。

今はマインドフルネスについて研究分野を広げています。マインドフルネスは簡単に言うと注意集中トレーニングですが、心の問題の改善や、健康増進に役立つとされています。例えば、国語や数学などは学校で学びますが、心の使い方を学ぶ機会はあまりありません。英国教育組織と協働し、心の上手な使い方を子どもたちに教える心の教育にも取り組んでいます。



芦谷先生が作・監修した絵本(左)や、刊行に携わったマインドフルネスに関する書籍

先生がいま、夢中なこと

マインドフルネスから派生してヨガや、アーユルヴェーダというインド医学にもとても関心があります。趣味はピアノや編み物。自分の内にたまったものを外に出してくれるように思えるので、自分の中で趣味は大事なものだと思っています。

取材を終えて

芦谷先生のお話の中で、「マインドフルネスがネガティブな感情に向き合う方法として重要である」ということが印象的でした。さらにマインドフルネスの実践がどのように心の健康に寄与するのかも考えさせられ、今後の教育におけるその活用法について非常に興味を持ちました。先生の実践やその取り組みに触れる中で、心の健康を支えるための具体的な方法や理念について多くの教えをいただき、自分自身の視野を広げることができました。

-  前田 倅汰
経済学部
済美高校(岐阜県) 出身
-  石川 美音
経済学部
西大和学園高校(奈良県) 出身
-  佐山 結香
教育学部
石山高校(滋賀県) 出身

●この取材は、「学生広報サポートチーム」が担当しました。詳細はP2をご確認ください。

Study abroad

海外から滋賀へ 留学体験記

滋賀大学・大学院では約140人の留学生が学んでいます。
そこで2名の留学生に滋賀大学での学び、生活について話を聞きました。



ファティン ファルハナ ビンティ アブドゥル ハリム
(Fatin Farhana Binti Abdul Halim)
経済学部



「春の滋大祭」では、マレーシア料理・文化体験の模擬店を出店。キャンパスの図書館も活用しています



意見交換を通じて 多様な視点の大切さを知る

兄が日本に留学したことをきっかけに、私も日本に留学したいという気持ちが芽生えました。滋賀大学を選んだのは、日本語学校の先輩がすでに滋賀大学で学んでおり、留学生活や大学についてたくさん話を聞くことができたからです。留学を通じて、異なる文化に適應し、柔軟に対応する力が身についたと思います。中でも特に印象に残っているのが、グローバル・コース※の「プロジェクトB」という授業です。飢餓や貧困、難民問題といったグローバルな課題について学び、最終的にグループで意見をまとめて発表するのですが、日本人学生や他国の留学生と意見を交換することで、多様な視点から物事を考える大切さを学ぶことができました。将来は、マレーシアの企業が日本市場に進出する際に両国の架け橋となり、経済やビジネスの交流を促進できればと思います。

※経済・ビジネスの専門知識とコミュニケーション力を併せ持ったグローバル人材の育成をめざす経済学部のプログラム。



テニスサークルを体験したり、東寺では屋台も楽しみました



キム ジミン(金 志珉)
教育学部 交換留学生



挑戦が怖くなくなり 一歩を踏み出せるように

日本語・日本文学とバイオ工学を専攻しています。在学する韓国の大学が交流している日本の大学で、滋賀大学が生物科学に関する授業を行っていたので留学を決めました。受けている授業はどれもすばらしいのですが、京都や滋賀に関するさまざまな体験ができた「日本文化理解」の授業が特に印象に残っています。関西弁を学んだり、琵琶湖について調べたり、東寺に行ったり…。授業での和菓子体験で、栗羊羹についても知ることができました。大学外では日本人の友人がいろいろなところに連れて行ってくれたり、自宅で家庭料理を味わう機会もつくってくれたおかげで、日本人の日常を体験できました。この思い出は一生忘れることができないと思います。留学によって視野が広がり、確実に以前より挑戦に対する怖さがなくなったように思います。今後も自信を持って、より広い世界でさらに多様な経験をしてみたいと思っています。

国際交流アソシエイトの学生が活躍

国際交流アソシエイトでは、滋賀大学に学びに来た留学生のサポートのほか、イベント企画、留学生チューターなどを行っています。彦根市にあるミシガン州立大学連合日本センターとも交流があり、今号の表紙は本学学生とともに同センターを利用する留学生の皆さんで撮影をしました。

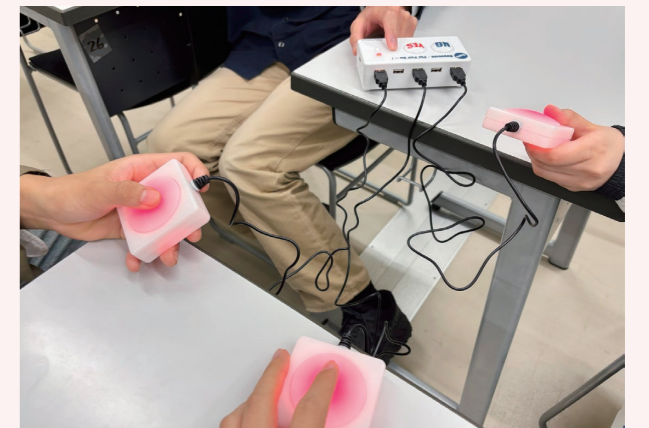
●参加希望の学生は国際交流課まで E-mail: kokusai@biwako.shiga-u.ac.jp

知識があるだけでは勝てない 奥深いクイズの世界

▶▶ 大津キャンパス

クイズ研究会

週2回、早押しを中心に多答などさまざまなクイズを行っています。クイズの魅力には、知識が増え世界が広がることはもちろん、とりわけ早押しクイズにおいては「知っているだけでは勝てない奥深さ」があります。知識が多ければ有利なのは間違いないのですが、それだけでは押し勝てません。例えば「日本で一番高い山/」のスラッシュのところでボタンを押した場合、知識は豊富でも早押しクイズの経験がない人は答えを絞りづらいのですが、実は文章の長さ、問題を読む抑揚、口の形といった要素から答えをある程度絞ることができます。先ほどの例では答えが「富士山」だと問題文が短く、問題を読むときに「一番」を強調したなら、後半で変化して「二番目に高い山」が問いになるという予想がつかます。こういった考えで答えを絞るため、押すタイミングが重要になるのです。一朝一夕では身につかない技術ですが、興味のある方はぜひ一度体験してみませんか？



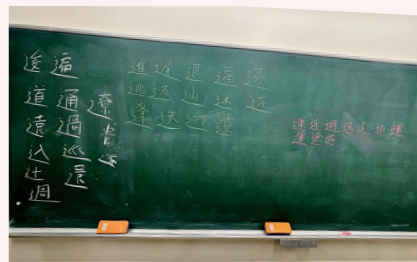
出題に解答したり、早押し対策をしたりと、クイズに真剣に向き合っています

2024年の活動

- 彦根キャンパスのクイズ研究会、彦根東高校クイズ研究会などとのオンライン交流会(長期休業に実施)
- 大会への参加(不定期)

最新情報はこちらから

✉ @Shigaedu_quiz
📷 @sue_quiz_club



pick up CLUB & CIRCLE

120以上ある課外活動の団体から、2団体を紹介します。

自分たちで作りあげた作品を 定期公演や外部舞台で発表

▶▶ 彦根キャンパス

劇団ZERO



滋賀大学彦根キャンパス講堂で上演することもあります

私たち劇団ZEROは、滋賀県立大学の劇団深夜特急と合同で活動しており、主に滋賀県立大学を練習場所としています。基本的な活動としては、週に1回定期稽古を行っており、演技をするうえで基本となる体作りをしています。また毎年5、9、12月頃に1時間程度の作品を上演する定期公演を行っており、それに向けて1~2か月稽古に励みます。その他にも、大学祭ではコント・ショートストーリー公演を行っています。

公演で上演する台本は基本的に部員が創作しています。役者として舞台に立ちたい部員、舞台の照明や音響、衣装に興味のある部員、そして物語を創作する事で感動を伝えたい部員、劇団ZEROではそんな部員たちが熱意を持って活動しています。どの公演でもお客さまに楽しんでいただけるように稽古に励んでいます。公演情報はSNSで随時更新していますので、たくさんの方々には私たちの公演を観ていただきたいです。

2024年度・2025年度(予定)の公演

- 毎年6月、11月に、長浜市にある「多目的ハウス川崎や」でコント・ショートストーリー公演「ライブ in 川崎や」を開催

最新情報はこちらから

✉ @NewsAceCrew101
📷 @zero_shinyatokkyu



ニュース & トピックス

滋賀大学の最新ニュースを
YouTubeで毎週、発信しています。



滋賀大学の取り組みや学生の活躍など、注目のニュースを紹介します。
最新情報は随時、YouTubeでも発信しています。こちらもぜひご覧ください。

彦根キャンパスに イニシアティブ棟が竣工

□ 全学部

2025年3月、データサイエンス・AI研究の産官学連携、地域交流の拠点となる、「イニシアティブ棟」が竣工しました。
人々や企業が交流する中で「ヒト×技術力×研究力×滋賀大学の組織力」によってオープンイノベーションを創出し、日本の経済や産業の高度化をめざします。



イニシアティブ棟(イメージ)

「教育データサイエンティスト養成プログラム」 で初の修了生2名を輩出

□ 教育学部

データサイエンス・AI、プログラミング、情報技術に関する知識を備え、初等・中等教育段階においてそれらを教える能力を有する教員の育成を目的とする「教育データサイエンティスト養成プログラム」において、2024年10月17日に「教育データサイエンティスト」として2名が初認定されました。
このプログラムでは「データサイエンス」「統計学」といった所定の単位を修得した学生を「准教育データサイエンティスト」として認定。所定の単位を修得のうえ、統計検定などの外部資格試験に合格した学生を「教育データサイエンティスト」として認定しています。プログラムの修了者には、世界共通の技術標準規格に沿ったデジタル証明であるオープンバッジが授与されます。



修了生2名(中央)と久保加織学部長(右)、渡邊暁彦副学部長(左)。
修了を記念し、表彰状が授与されました

KINTOみらいファンド賞授賞式を開催

□ 全学部

2025年1月14日、KINTOみらいファンド賞授賞式を彦根キャンパス講堂で開催しました。
「KINTOみらいファンド賞」は株式会社キントー様のご寄附により設立されたもので、目覚ましい活躍をした学生を応援し、新たな才能の発掘と挑戦し冒険する志を育むことを目的としています。今回は、厳しい審査を経て優れた活動を行った11名の学生が、KINTOみらいファンド賞を受賞しました。

授賞式の開催報告と受賞学生の
インタビューはこちら
(滋賀大学YouTube)



授賞式後の記念撮影



滋賀大学へご支援のお願い

本学では『滋賀大学基金』を設置し、学生の教育・研究、国際交流、修学、課外活動、データサイエンス教育研究の高度化など、滋賀大学を幅広く支えていただくご支援をお願いしています(税制上の優遇措置の対象です)。
皆さまの温かいご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

『滋賀大学基金』の種類

一般基金	・学生の教育・研究や国際交流活動など、大学全般に対する幅広いご支援
(以下、特定基金：特定目的へのご支援)	
データサイエンス・AIイノベーション・commons形成基金	・データサイエンス・AI分野のイノベーション・commons(共創拠点)を形成するためのご支援
修学支援事業基金	・経済的な理由で修学が困難な学生に対するご支援
スポーツ・文化活動基金	・学生の課外活動に対するご支援(特定の部活動への支援を指定可)
データサイエンス基金	・データサイエンス教育研究の高度化に対するご支援
経済学部基金	・経済学部における教育研究活動に対するご支援
経済学部基金(史料館)	・経済学部附属史料館の史資料の保存・活用に対するご支援
教育学部基金	・教育学部における教育研究活動、創立150周年記念事業に対するご支援
附属学校園いまを生きる基金	・教育学部附属学校園の教育環境充実をはじめ、教育活動、創立150周年記念事業に対するご支援
藤村泰子記念基金	・障害児者の音楽教育・音楽活動に対するご支援

税制上の優遇措置が受けられます

個人からのご支援で寄附金が2,000円を超える場合は、確定申告によって税制上の優遇措置を受けることができます。

【所得税の「所得控除」について】

寄附金額から2,000円を差し引いた額が
総所得から控除されます。

【所得税の「税額控除」について】

寄附金額から2,000円を差し引いた額の
40%が税額から控除されます。

	「修学支援事業基金」へのご寄附	「修学支援事業基金」以外のご寄附
所得税	「所得控除」または「税額控除」のうち、 いずれかの制度を選択できます。	「所得控除」を受けられます。
住民税	お住まいの都道府県によっては「税額控除」を受けられます (都道府県・市町村が定める条例によって異なります)。	

滋賀大学教育学部および附属小学校創立150周年記念事業 ご寄附のお願い

滋賀大学教育学部および附属小学校は、2025(令和7)年に創立150周年を迎えます。
滋賀大学教育学部および附属小学校では、創立時の理念を継承する一方で、新時代を切り拓くべく革新を図っています。すべての子どもたちの可能性を引き出す個別最適な学びと、協働的な学びの実現が求められる令和の学校教育に対応する学びを用意し、これまで教育の基軸としてきた確かな教育実践力と環境教育力の養成に加え、教育データサイエンティスト養成プログラムやダイバーシティ教育専門科目群履修プログラムを新たに開始しました。さらに、STEAM教育などによる問題発見・課題解決的な学びを実践できる力の養成にも取り組んでおります。
創立150周年を迎えるにあたり、改めて、日本の未来を担う子どもたちが、激動の社会で、子ども時代を十分に生き、未来を切り拓いていく力を育てるよう、子どもの伴走者として学び続ける教員の養成をめざしてまいります。
これまでのご支援に対し感謝いたしますとともに、教育学部および附属小学校の新たな挑戦に向けた基盤を築く事業に対し、特段のご支援を賜りますよう、謹んでお願い申し上げます。

滋賀大学教育学部および附属小学校創立150周年記念事業推進委員長 久保 加織



詳しくは寄附金ホームページをご覧ください。

<https://www.shiga-u.ac.jp/kikin/>

(お問い合わせ先) 滋賀大学基金室(総務課)

〒522-8522 滋賀県彦根市馬場1丁目1番1号
TEL 0749-27-1004 FAX 0749-27-1129
E-mail kikin@biwako.shiga-u.ac.jp

